

4月20日：閑散な商いの中、小幅高

木曜日は、両取引所とも商いが減少し値上がり幅も限定的な中小幅高で引け、トレンドが不安定であることを示した。

ホーチミン取引所では、VN 指数は 0.03% 上昇し、1,049.25 ポイントで引けた。同指数は水曜日、0.6% 下落して引けていた。

市場の勢いはまちまちで、179 銘柄が上昇し、176 銘柄が下落、122 銘柄は変わらずだった。

保険、不動産セクターは比較的堅調だったが、証券、小売、鉄鋼、建設、鉱業などは上値に乏しく、相場の重しとなった。

大型株 30 銘柄で構成する VN30 指数もまちまちで、14 銘柄が上昇したのに対し 13 銘柄が下落した。

VN 指数ではビンホームズ(VHM)、BIDV 銀行(BID)、PV ガス(GAS)、バオベトホールディングス(BVH)などが上昇に貢献した。上昇は 1% 未満だったが、VP バンク(VPB)、マサングループ(MSN)、ベトコムバンク(VCB)、テックコムバンク(TCB)などの大型株の下落が響いた。VP バンク(VPB)が 1.8% 下落したのを除いては、他は 1% 未満の下落となった。

多くの不動産銘柄が上昇したが、上値は限定的だった。ナムロン投資(NLG)は終日上昇して推移し、1.5% 上昇して終えた。

出来高は 3 億 74 百万株、売買代金は 6.6 兆ドン（約 2 億 80 百万ドル）と低調で、出来高、売買代金共に前日から 30% 超減少した。

ベトドラゴン証券のアナリストは、キャッシュフローが低調なのはマーケットに依然として警戒感がくすぶっているためと見ている。

同アナリストは、VN 指数は当面、1,050 ポイントを挟んでもみ合うと見ている。

ハノイ取引所では、HNX 指数が 0.37% 上昇し、206.61 ポイントで引けた。同指数は水曜日、1.1% 下落していた。

出来高は 7,630 万株、売買代金は 1.1 兆ドンで、それぞれ 18%、13% 上昇した。

外国人はホーチミン市場で買い越したが、530 億ドンと勢いは弱かった。ハノイでは 4 億 66 百万ドンを売り越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。